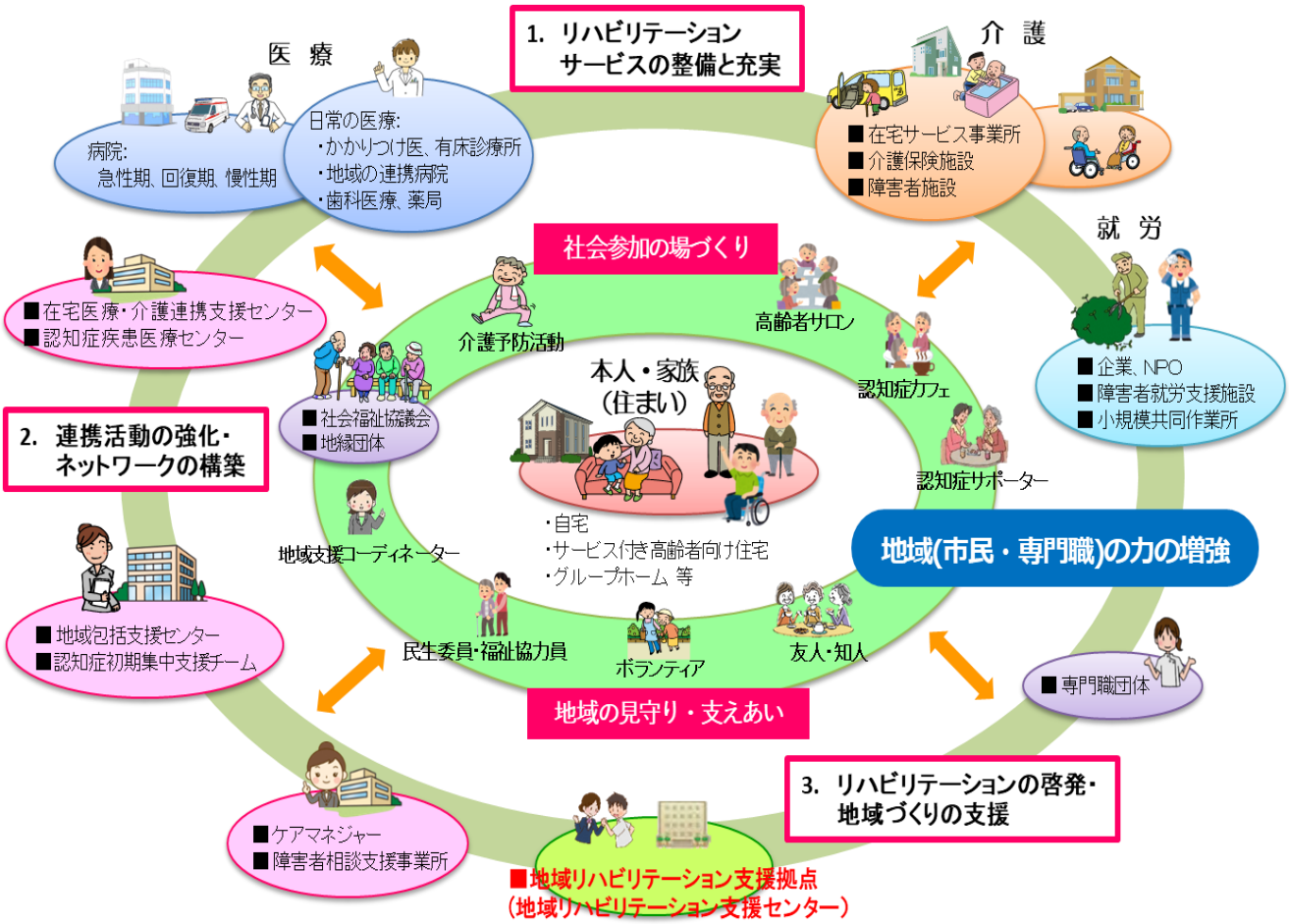
2026.9 北九州市保健福祉局
地域リハビリテーション推進課作成

北九州市の地域リハビリテーション支援体制について

北九州市では、**「リハビリテーションサービスの整備と充実」、「連携活動の強化・ネットワークの構築」、「リハビリテーションの啓発・地域づくりの支援」**を柱に、地域リハビリテーション支援体制を構築するため、以下のような取組みを行っております。

地域包括ケアシステムを支える 地域リハビリテーション推進イメージ

〔本人・家族を中心とした重層的な支援の輪〕
○地域の中での見守り・支えあいのつながりや社会参加、居場所（地域の輪）
○地域への働きかけができる専門職人材の育成や関係者間のネットワーク（専門職の輪）



※各取組(1.2.3.)には教育(人材育成)が重要

地域リハビリテーション支援体制の推進は、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる社会を目指すしくみ（地域包括ケアシステム）や、地域住民、地域の多様な主体が参画し、世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会（地域共生社会）の構築に向けた取組のひとつです。

【浜村明徳氏（小倉リハビリテーション病院 名誉院長）の協力のもとに作成】

＜具体的な取組み＞

区リハビリテーション連絡協議会の設置・運営（1997年～）

リハビリテーション専門職を中心に、組織や職種を超えて顔の見える関係を構築し、情報共有や支援技術の向上を図るとともに、地域の特性に応じたリハビリテーションに関する情報発信や普及啓発活動を行っています。
（東部圏域・若松区・八幡東区・八幡西区・戸畑区）





地域リハビリテーションケース会議の開催（2003年～）

保健・医療・福祉・介護の関係者が、事例を通して多職種による連携の仕方やリハ支援技術を学ぶ研修会を市レベルで開催しています。これまでに全67回（事例検討52回・特別セミナー15回）開催し、毎回200名近くのリハ関係者の方々にご参加いただいています。

コーディネーター：浜村明徳先生、 橋元隆先生
アドバイザー：産業医科大学 リハビリテーション医学講座



地域リハビリテーション支援センターの設置（2017 年～）

北九州市の地域リハビリテーションを推進するための中核拠点として、市内2カ所に「地域リハビリテーション支援センター」を設置しています。

ケアマネジャーや介護サービス事業所等からの相談に対し、必要に応じて同行訪問を実施するほか、地域リハビリテーション協力機関のコーディネートや住民主体の通いの場へのリハビリテーション専門職派遣などを行っています。
（委託先）
東部地域リハビリテーション支援センター：小倉リハビリテーション病院
西部地域リハビリテーション支援センター：戸畑リハビリテーション病院



地域リハビリテーション協力機関の登録・リハ専門職の地域派遣（2021 年～）

北九州市内の医療機関や介護サービス事業所等のうち、事業に協力いただける機関を「協力機関」として登録し、所属するリハビリテーション専門職を地域ケア個別会議や住民主体の通いの場に派遣しています。（R8.4 月現在登録数：66機関）

KCBR 北九州市
地域リハビリテーション
協力機関

